

令和7年度 指定管理者施設管理評価シート

| | | | | |
|------|--|---|-------|-------------------|
| 施設名称 | | 18 東京都台東区立書道博物館 | 部課名 | 文化産業観光部文化振興課 |
| 選定方法 | | <input type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 継続特例 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募 | 指定管理者 | 公益財団法人台東区芸術文化財団 |
| | | | 指定期間 | R7.4.1 ~ R12.3.31 |

1. 施設及び事業の概要

| | | |
|-----|------------------|---|
| (1) | [設置目的] | 書道博物館は、洋画家でもあり書家でもあった中村不折が独力で蒐集した、中国及び日本の書道史研究上重要なコレクションを有する専門博物館である。中村不折の作品及び書道に関する収集品を広く一般に展示公開し、区民文化の振興を図る。 |
| (2) | [所在地] [規模] | 台東区根岸2-10-4 延べ床面積 1,032.38㎡ (蔵) 16.52㎡ RC造 平屋建 (本館) 247.93㎡ RC造 2階建て 第1~5展示室 (中村不折記念館) 764.83㎡ RC造 3階建て エントランスルーム、展示フロアー、特別展示室、中村不折記念館、会議室、事務室など |
| (3) | [委託事業] [自主事業] | 博物館資料の保管及び展示、博物館資料に関する調査及び研究などの事業。施設・付帯設備及び物品の保全・調整、施設内の清潔整頓、その他環境整備等の事業。施設使用料徴収などの事業。 特別展「拓本のたのしみー王羲之と欧陽詢ー」、企画展「みんなが見たい優品展パート19「敦煌写本の世界ー蔵経洞のたからものー」、中村不折コレクション「漢字のはじまり」 |
| (4) | [利用者] [利用料金制] | 区民、一般来館者 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 |
| (5) | [開館日・時間] | 開館日：休館日（月曜日/12月29日~1月3日/特別整理期間等）を除く 開館時間：午前9時30分~午後4時30分（入館は午後4時まで） |
| (6) | [人員体制] | 7名 （内 訳）常勤固有職員（1）派遣職員（1）研究員（2）専門員（1）特例嘱託員（2） （前年増減）増減なし |

2. 予算決算

| | | R5予算 | R5決算 | R6予算 | R6決算 |
|----|----------------|------------|------------|------------|------------|
| 収入 | 委託料（指定管理料） | 30,880,000 | 25,744,540 | 32,183,000 | 27,270,613 |
| | 利用料金収入 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他収入（ ） | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 計 | 30,880,000 | 25,744,540 | 32,183,000 | 27,270,613 |
| 支出 | 人件費 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 光熱水費 | 9,384,000 | 6,925,470 | 9,299,000 | 6,761,748 |
| | 維持管理費（委託料・賃借料） | 19,207,000 | 17,464,379 | 20,328,000 | 18,068,691 |
| | 修繕費 | 400,000 | 272,800 | 498,000 | 497,640 |
| | 事業費 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他支出（ 消耗品費等 ） | 1,889,000 | 1,081,891 | 2,058,000 | 1,942,534 |
| | 計 | 30,880,000 | 25,744,540 | 32,183,000 | 27,270,613 |
| 収支 | | | 0 | | 0 |

3. 活動指標

| 単位 | (目標値)R8年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 |
|------|-----------|------|------|------|
| 開館日数 | 280 | 283 | 276 | 279 |

4. 成果指標

| 単位 | (目標値)R8年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 |
|------|-----------|--------|--------|--------|
| 入館者数 | 15,000 | 11,568 | 11,523 | 15,479 |

5. 前回評価及び第三者評価の結果に対する、現在までの取り組み状況

東京国立博物館との連携企画も22回目となり、国内に所蔵される世界有数の名品を一望できる貴重な機会を提供した。ギャラリートークや展示解説の回数も大幅に増やし、参加者数も増加するなど書道の魅力を広める活動を行っている。

6. 評価の観点

(20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり)
(13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った

| | |
|-----------------|--|
| (1) 管理の適正性 | 法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。 |
| 20 / 20 点 | 事業計画書・報告書等の作成・提出をはじめ必要な手続きを適切に行うとともに、必要な事項について区と協議しながら、適正な管理体制のもと運営が行われた。 |
| (2) 事業の運営 | 職員配置、職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。 |
| 19 / 20 点 | 学芸員による、専門的な内容を楽しくわかりやすく伝えるイベント(ギャラリートーク)は、定員より多くの参加希望者が集まること多い。前年より開催回数を増やして、お客様のご要望にお応えできるよう尽力した。今後区と財団で協議し、DX化の方策を検討する |
| (3) 施設の維持管理 | 建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。 |
| 20 / 20 点 | 備品及び物品の管理は適切に行われた。また施設の修繕について、区に迅速に連絡し適正な対応を行った。 |
| (4) サービス向上の取り組み | 利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取り組みが積極的に行われているかを評価する。 |
| 20 / 20 点 | リクエストの多い作品を展示するなど、利用者満足度を向上させる取り組みを実施している。また、SNSでこまめに書道博物館の今を伝える投稿を継続している。 |
| (5) 収入支出 | 予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。 |
| 20 / 20 点 | 東博との連携企画の図録は再版を行うなど、大変な人気を博し、また入館料収入については、前年度比35.8%の増となった |

(6) 優れた取り組み

◀加点項目▶

※点数上限：10点

指定管理者の自主的な取り組みによる成果

—

点

7. 総合評価

極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)

| | | |
|--------------------------------------|---|---|
| <p>良好</p> <p>(99 / 110点)</p> | <p>【所見】</p> <p>東京国立博物館との連携企画は20回を超え、また世界中の博物館とのネットワークを通じた展示も数多く実現してきた。海外のSNSでも当館や展示、書籍等について紹介して下さる投函が多く、それが来館者増に繋がっている。</p> | <p>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】</p> <p>今後区と財団で協議し、財団全体のDX化の方針を検討する。</p> |
| | | |